日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和７年４月第１回市長定例記者会見

・日時　令和７年４月７日(月)
　　午後３時３０分
・場所　市役所本庁舎記者会見室

１　４月１９日(土)に「しぶかわ桜まつり」を開催します（資料１）

２　高校生や大学生と連携して作成した啓発チラシ
「ユース世代のためのリプロダクティブ・ヘルス／ライツ」が完成しました
（資料２）

３　「第２次渋川市障害者活躍推進計画」を策定しました（資料３）

４　地域の担い手不足を解消するため自治会加入を「渋川市移住者住宅支援事業助成金」の交付要件とし地域の活性化を促進します（資料４）

５　渋川市内から東京都等の大学などに通う学生を応援する
「渋川市定住促進県外通学学生応援事業」を実施します（資料５）

その他資料提供

・ミニシンポジウム「しぶかわ未来共創スプリングセッション in 金島」を開催します（資料６）
・春の全国交通安全運動に伴う一斉街頭指導を行います（資料７）

○次回開催予定
日時：令和７年４月１１日(金)　午後１時
場所：渋川市役所本庁舎２階　記者会見室

市長の主な週間日程

月　日	時間	件　　名	場　　所	所　管
4月7日(月)	7:15	春の全国交通安全運動に伴う車両広報	渋川地区(北)	危機管理室
	10:00	小学校入学式	小野上小学校	学校教育課
	13:30	渋川看護専門学校2025年度入学式	プレヴェール渋川	健康増進課
	15:30	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
4月8日(火)	7:20	春の全国交通安全運動に伴う車両広報	北橘地区	危機管理室
	10:00	幼稚園・こども園入園式	かに石こども園	学校教育課
	13:30	渋川地区高等職業訓練校入校式	渋川地区高等職業訓練校	広域組合
4月9日(水)	7:15	春の全国交通安全運動に伴う車両広報	赤城地区	危機管理室
4月10日(木)	7:15	春の全国交通安全運動に伴う車両広報	子持地区	危機管理室
	17:00	叙勲伝達	市役所本庁舎	秘書室
4月11日(金)	7:15	春の全国交通安全運動に伴う車両広報	小野上地区	危機管理室
	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
4月12日(土)				
4月13日(日)	10:00	令和7年度半田自治会定期総会	半田自治会館・喜多集落センター	市民協働推進課
	11:00	渋川地区広域圏小野上処分場連絡協議会定期総会	市環境学習多目的施設	小野上行政センター
4月14日(月)	7:30	春の全国交通安全運動に伴う車両広報	伊香保地区	危機管理室
	15:30	春の全国交通安全運動に係る一斉街頭指導	市民会館前	危機管理室

資料１

４月19日（土）に「しぶかわ桜まつり」を開催します

約3,000本の桜を有する渋川市総合公園で、桜が見頃を迎える４月19日（土）に「しぶかわ桜まつり」を開催します。ステージイベントやスタンプラリーなどを実施するほか、MM―１フェスティバル（まんなか・まんじゅうフェスティバル）も同時開催します。

１　概　　要

約3,000本の桜を有する渋川市総合公園で、市民に桜を愛で春の訪れを感じてもらうことを目的とした企画です。

平成28年に初めて開催し、今回で８回目となります。平成29年からは、渋川商工会議所青年部が中心となった実行委員会を組織し、運営しています。

当日は、渋川市内各店舗のまんじゅうを味比べできる、MM―１フェスティバル（まんなか・まんじゅうフェスティバル）を同時開催します。

２　日　　時　　令和７年４月19日（土）　午前９時～午後３時

３　場　　所　　渋川市総合公園（渋川市渋川4272）自由広場

４　内　　容

（１）しぶかわ桜まつり（主催：しぶかわ桜まつり実行委員会）

・ステージアクト

Voxx Gardens Circusによるライブが行われます。

※Voxx Gardens Circusは、ライブイベントを企画、実施している団体です

・スタンプラリー

スタンプを集めながら桜の名所を散策していただきます。

・出店コーナー

今年は、市内の飲食店事業者を中心に20店舗以上もの出店が並びます。このほか、こどもブースなどを企画しており、ぐんまちゃんのふわふわドームが登場します。

・楽しい乗り物コーナー

消防車、トラックなどの車が展示され、試乗や記念撮影ができます。

レトロな三輪自動車トゥクトゥクも登場します。

※状況により内容に変更、中止の場合があります

・MM－１フェスティバル

「日本のまんなか」渋川市の「まんじゅう」をＰＲするとともに、地域の活性化を図ることを目的に、渋川地区の「まんじゅう」を一堂に集め販売します。

・渋川バザール

渋川商工会議所青年部の産業祭を開催します。

※荒天中止です

（２）夜桜ライトアップ（主催：渋川市）
　公園内のレンガ通り及び自由広場において桜にスポットライトをあてるなど夜桜を楽しんでいただけます。
・期　間　　令和７年４月12日(土)～５月６日(火･休)
　　※桜の開花状況により変更となります
・時　間　　毎日午後６時～９時

５　主　　催　　しぶかわ桜まつり実行委員会

６　共　　催　　渋川商工会議所青年部

７　後　　援　　渋川市、渋川商工会議所、公益財団法人渋川市まちづくり財団、一般社団法人渋川伊香保温泉観光協会、渋川地区物産振興協会

８　記者会見出席者
しぶかわ桜まつり実行委員長　浦野　雅士（うらの　まさし）さん

参考

しぶかわ桜まつり過去５カ年の開催状況
・令和２年度　※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
・令和３年度　※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
・令和４年度　４月16日：来場者数約2,500人
・令和５年度　４月15日：来場者数約1,500人
・令和６年度　４月13日：来場者数約3,000人

■問い合わせ先
建設交通部　部長　木村　博之（内線4700）
担当：都市政策課（電話0279-25-8307）
　　課長　松田　忠義（内線4790）
　　管理係長　谷　徳二（内線4785）

Cherry Blossom Festival 2025

しぶかわ桜まつり

2025 4.19 SAT
9:00 – 15:00

【同時開催】渋川バザール（渋川商工会議所 青年部 産業祭）

【同会場開催】MM-1フェスティバル（まんなかまんじゅうフェスティバル）

出店ブース
商工会議所会員企業の飲食・紹介ブース多数！

ステージ
高校生バンドやVoxx Gardens Circusのステージライブ

MM-1フェス
渋川地域のまんじゅうが勢揃い！推しのまんじゅうを見つけよう

楽しい乗り物
大人気のトゥクトゥクが復活！レトロな車両はインスタ映え！

子供ブース
型抜き・くじ引きスーパーボールすくい等

スタンプラリー
会場を巡りながらスタンプを集めて景品をゲット！

※トゥクトゥクの写真はイメージです。

ぐんまちゃん ふわふわドームがやってくる！

会場 / 渋川市総合公園 自由広場（渋川市渋川1272）

※荒天時の場合は中止と致します。詳細の可否につきましては、下記QRコードよりご確認をお願い致します

主催 しぶかわ桜まつり実行委員会　共催 渋川商工会議所 青年部
後援 渋川市 / 渋川商工会議所 / (公財)渋川市まちづくり財団 / (一社)渋川伊香保温泉観光協会 / 渋川地区物産振興協会
協力 Voxx Gardens Circus実行委員会

イベントの詳細は、QRから確認ください。

お問合せ / 渋川商工会議所青年部（実行委員長 浦野雅士）070-6521-4335

資料2

高校生や大学生と連携して作成した啓発チラシ「ユース世代のためのリプロダクティブ・ヘルス／ライツ」が完成しました

渋川市は、「男女共同参画」や「女性の健康づくり」を推進するため、高校生や大学生と連携して、「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（＝「性と生殖に関する健康と権利」）」を周知し、若年層のヘルスリテラシーを高めるためのチラシを作成しました。
今後、このチラシを活用し、市内の若年層への周知を図るほか、ＳＮＳ等で発信していきます。

１　概　　要

「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」は、近年「ＳＲＨＲ（＝セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ、Sexual and Reproductive Health and Rights）」ともいわれ、基本的人権、また生涯を通じた女性の健康支援に関する重要な概念の一つとして認識されています。

一方で、全国的にこの言葉の認知度は低いままであり、渋川市においても調査を開始した平成19年度以降大きな改善が図られていないことから、啓発に向けたさらなる取り組みが必要な状況となっています。

このたび、若年層のヘルスリテラシーを高めるための、ユース世代向けのチラシを作成しました。

作成に当たっては、渋川市内で唯一のユースセンターである「よはく」を運営する一般社団法人ポータルとともに、同センターを利用する高校生及び大学生から希望者を募集し、応募者が群馬大学の林はるみ教授の指導のもと作成しました。

２　チラシの内容

「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」の基本的な内容のほか、「生理休暇」、「プレコンセプションケア」、「低用量ピル」、「デートＤＶ」などを紹介し、自分のからだの健康と権利について、啓発を図るものです。

３　チラシの規格　　Ａ４サイズの三つ折り、カラー・両面印刷

４　指導及び監修　　国立大学法人群馬大学　ダイバーシティ推進センター
教授兼副センター長　林　はるみ　氏

５　記者会見出席予定者

ユースセンターよはく　ＳＲＨＲ啓発推進メンバー
- 長谷川　陽南（はせがわ　ひなみ）さん／渋川女子高等学校３年
- 片桐　静流（かたぎり　しずる）さん／渋川女子高等学校３年
- 平井　まど花（ひらい　まどか）さん／前橋女子高等学校２年
- 都丸　唯（とまる　ゆい）さん／渋川女子高等学校３年
- 石田　明日美（いしだ　あすみ）さん／渋川女子高等学校３年
- 千明　俊太（ちぎら　しゅんた）さん／ユースセンターよはく所長

６　その他

今後、市のホームページや公式ＳＮＳでの発信、公共施設での配架を進めます。

また、市内の若年層に向けたチラシの配布などを含めた周知方法についても、「ユースセンターよはくＳＲＨＲ啓発推進メンバー」と連携しながら、活用を図っていきます。

参考

１　「ユースセンターよはく」について

高校生や大学生などのユース世代が、放課後などに思い思いに好きなことをして過ごせる学校以外の居場所で、令和６年４月に開所しました。

（１）所在地　渋川市渋川1816番地22
（２）開所日　毎週月・水・金曜日（平日）
（３）利用料　高校生以上１日100円
（４）代表者　所長　千明　俊太（電話070-3277-0605）

２　「一般社団法人ポータル」について

「ユースセンターよはく」や群馬県からの支援のもと「フリースクールぱれっと」を同所で開設するほか、前橋市内でもフリースクールやこども食堂を運営し、子どもの居場所づくりを進めている一般社団法人です。

（１）法人所在地　群馬県桐生市相生町二丁目767番地12
（２）代表者　古井戸　進

３　「ユースセンターよはくＳＲＨＲ啓発推進メンバー」について

「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」の啓発を図るために、若者世代からの主体的かつ多角的な情報発信を進めるため、高校生以上の世代が集う場所「ユースセンターよはく」を運営する一般社団法人ポータルと連携し、同センターを利用する高校生や大学生の中から、企画に参画してくれるメンバーを募集しました。

同メンバーは、有識者による女性の健康づくりの講義を受け、「ＳＲＨＲ」について理解を深めながら、このチラシを作成しました。

同チラシをＳＮＳで発信するほか、令和７年度も引き続き、「ＳＲＨＲ」の啓発に協力していただきます。

４　渋川市における「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」の言葉の認知度

市民意識調査結果	平成19年7月	平成24年8月	平成29年8月～9月	令和6年12月～令和7年1月	【目標値】令和７年度
「ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞ・ﾍﾙｽ/ﾗｲﾂ」の言葉の認知度	4.3%	4.1%	4.2%	6.0%（速報値）	15.0%

※群馬県が公表している中で最新となる、令和元年度の男女共同参画社会に関する県民意識調査結果では、本県における認知度は2.8%でした

■問い合わせ先
総合戦略部　部長　鴻田　吉史（内線2410）
担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）
課長　小野　篤史（内線2420）
未来戦略係長　齋藤　大輔（内線2423）

Introduction

「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」
ってなあに？

▶リプロダクティブ・ヘルス／ライツとは＿＿
SRHR（Sexual and Reproductive Health and Rights）
のことを言います。
和訳すると、「性と生殖の健康と権利」と訳せます。

リプロダクティブ・ライツ
子どもを産む・産まない、いつ・何人持つか等、性や生殖、生き方に関することを国や宗教や第三者から管理されず自分で決める権利、そのために必要な情報やサービスを得る権利のこと

リプロダクティブ・ヘルス
性や妊娠・出産等にかかわるすべてにおいて、身体的・精神的・社会的に本人の意思が尊重され、自分らしく生きられること

History

4コマまんが

SRHRは、途上国の人口爆発を抑制するための強制的な避妊等を問題視し、1994年エジプトのカイロで開催された国際人口開発会議で提唱された概念です

Consultation counter

自分の身体や人生のことで
「どうしたらいいんだろう..」
と思ったらひとりで悩まず相談しましょう！

※いずれも年末年始や祝日等にお休みとなる場合があります

健康・医療・介護・育児・メンタルヘルス

○しぶかわ健康ダイヤル24
電話:0120-377-240（渋川市民のみ利用可）

様々な女性の悩み・暴力(DV)

○群馬県女性相談支援センター

さまざまな女性の悩み
電話:027-261-4466
対応時間:月～土 9:00～17:00

DV相談電話
電話:027-261-4463
対応時間:毎日 9:00～17:00

性の多様性・LGBTQなど

○よりそいホットライン
電話:0120-279-338

○一般社団法人ハレルワ
LINE相談:右記QRコード

男女共同参画（性別役割分担等に関する悩み）

○とらいあんぐるん相談室
電話:027-224-5210（女性用）
対応時間:火水金日 9:00～12:00，13:00～16:00
電話:027-212-0372（男性用）
対応時間:毎月2・4日曜 13:00～16:00

避妊・妊娠・出産の悩み・不安・女性の健康

ぐんま女性の健康・妊娠SOS相談
電話:027-289-4323
LINE相談:右記QRコード
対応時間:月水金土 18:00～21:00

心身のさまざまな不安や悩み

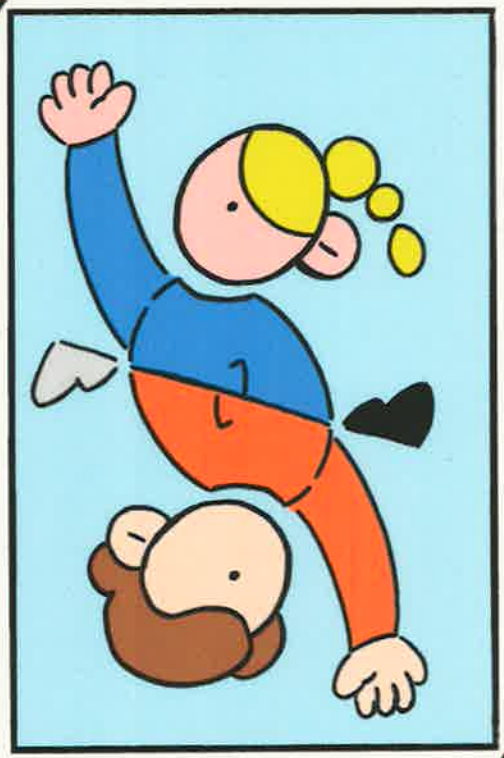
○こころのオンライン相談@ぐんま
LINE相談:右記QRコード

監修者　林はるみ氏
群馬大学ダイバーシティ推進センター教授／副センター長
渋川市男女共同参画審議会会長

制作　一般社団法人ホータル
「ユースセンターよはく
SRHR啓発推進メンバー あすみ・こう・しる・ひなみ・まとかゆい」
問合せ　渋川市政策戦略課
電話　0279-22-2111

For Youth

SRHR



「自分を大切に生きる」って何？

Let's all learn together！

共生社会実現のまち
渋川市
令和７年３月発行

生理休暇って
ズル休みですよね？

ズル休みではありません！
生理休暇は「就業が著しく困難な場合」
法律で認められている休暇制度です！

生理休暇を取ることのメリット
- 女性の健康が守られる
- 生産性が向上する
- 職場の環境や企業イメージが良くなる

●全ての女性に生理休暇を取る権利があります。
あなたのことを決めるのはあなた自身です。
辛い時はしっかり休むということも大切です。

低用量ピルって避妊の
ためなんでしょ？

低用量ピルは避妊効果だけでは
ありません。
月経痛などの月経トラブルの改善
にも効果があります。

低用量ピルの期待できる効果と費用・副作用

期待できる効果
- 月経前症候群（PMS）の改善
- 月経痛や肌荒れの改善
- 月経周期を整えられる
- ホルモンバランスが安定する

費用・副作用
- 費用がかかる
- 薬に慣れるまで吐き気等が現れることがある（女性ホルモンが安定すると緩和する）
- 喫煙者、肥満の人は血栓に注意が必要

●低用量ピルは避妊目的だけでなく、
治療目的でも使用されています！
また使用時の費用・副作用を考えておく必要があります！

自己肯定感を
高めるためには…？

自分自身と向き合うこと、
労り続けることが大切です！

1.小さな成功体験を積む
→目標を小さく設定し、
成功したら自分をほめる。

2.自分に優しくする
→失敗しても「大丈夫、次がある」
とポジティブにとらえ、疲れたときは無
理せず休む。

●ありのままの自分を愛しましょう！
周りの意見ではなく自分の意見を大切に！

もっと痩せて理想の体型に近づかな
きゃ！今日からご飯抜きにしよう…

今のうちにタバコ吸って酒飲んで、
楽しんでおけるうちに楽しんでおこう！

ちょっと待って！
「プレコンセプションケア」を
知って自分の体を大切にしようよ！！

プレコンセプションケアとは？
性や妊娠に関わる正しい知識を身につけ、将来のライフプランを考えて生活や健康に向き合うこと。これは誰にとっても若いうちから大切なことです。

気をつけよう！「痩せ」「肥満」
若い女性の「痩せ」（BMI 18.5未満）、「肥満」（BMI 25以上）は、不妊や妊娠・出産などにも影響を及ぼします。また、痩せによる骨密度の低下は将来の介護リスク、肥満は生活習慣病のリスクが高まります。

不妊について
日本ではカップルの4.4組に1組が不妊の検査や治療をしています。喫煙はがん・心臓病だけでなく、不妊にも影響を及ぼします。過度なアルコール摂取やストレスを避け、十分な睡眠と食事を含めた生活習慣を整えましょう。

BMI計算をしよう！【理想値は22】
BMI=体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）

パートナーがピル飲んでるなら
コンドームしなくてもいいよねって
言ってきたんですけど…

①デートの雰囲気で流されそうになった時、今日は気分がのらなかったが、相手が不機嫌になり圧力をかけてきたので、断れずに性行為をした

②パートナーに「今日は避妊具なしでいいよね」と言われて断れずに性行為に及んでしまった

あなたの同意かない性行為はDVです。
ピルには避妊効果や生理痛やPMSの改善など
様々な効果がありますが、性感染症を防ぐ
効果はありません。
性行為の際には
必ずコンドームをつけましょう

●あなたの体を守るのは最終的にはあなた自身です！
将来のために自分の体についての正しい知識をもちましょう！

恋人について悩んでます。
これってDV？

①指摘をすると殴られる
（身体的暴力）

②人前で馬鹿にされる
（精神的暴力）

③連絡ツールを勝手に見られる
（社会的暴力）

④同意のない性的接触がある
（性的暴力）

これら全てDVです！！！

●愛情と束縛は違います！
DVは決して許されることではありません。
被害者は我慢せず早く相談をしましょう。

資料３

「第２次渋川市障害者活躍推進計画」を策定しました

渋川市は、「渋川市障害者活躍推進計画」の計画期間が令和７年３月31日で満了となることから、「第２次渋川市障害者活躍推進計画」を策定しました。
この計画に基づいて、障害の有無に関わらず職員が互いに協力し合い、誰もがいきいきと活躍できる職場環境の実現に向けた取り組みを推進します。

１　趣　　旨

令和元年６月に改正された、障害者の雇用の促進等に関する法律により、障害者の雇用を一層推進するため、国や地方公共団体が自ら率先して障害者を雇用する責務が明示されました。また、厚生労働大臣が定める指針に則して、障害者である職員の職業生活における活躍の推進に関する取り組みに関する計画の策定が義務付けられました。これを受けて、渋川市においても、障害者の社会参加と、障害のある職員の活躍を推進するため、令和２年４月に渋川市障害者活躍推進計画を策定しました。

この度、同計画の期間が令和７年３月31日で満了となることから、新たに第２次計画を策定しました。障害のある職員一人ひとりが、その障害の特性や個性に応じて能力を有効に発揮し、職場に定着して働き続けることができるように取り組みを進めるとともに、障害の有無に関わらず多様な人材が活躍できる、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取り組みを推進します。

２　計画期間　　令和７年４月１日～令和12年３月31日（５年間）

３　計画の基本的事項

渋川市障害者活躍推進計画は、障害のある職員の職業生活における活躍推進を目的とし、国の指針に則して令和２年に策定した計画の期間満了に伴い、第２次計画を策定したものです。

計画期間は、令和７年４月１日から令和12年３月31日までの５年間としました。

なお、計画に基づく取り組みの実施状況を踏まえ、必要に応じて期間の途中でも見直しを行うこととしています。

本計画は、庁内イントラネットワーク等への掲載による職員への周知のほか、市ホームページでも公開しています。

また、計画に基づく数値目標の達成状況等について、毎年度、市ホームページ上に公表します。

４　障害者雇用の現状と課題

渋川市では、障害者雇用促進法に基づいて、平成28年度から正規職員について、障害者を対象とした採用選考を実施していますが、平成30年に、過去に行った障害者任免状況通報の内容について再点検を行ったところ、障害者の範囲に誤りが見られ、法定雇用率が未達成であったことが判明しました。

そのため、障害者を対象とした採用試験の受験資格、年齢要件等の見直しや、障害者の特性や希望に合わせた柔軟な勤務形態が可能となる臨時職員（会計年度任用職員）の採用選考を開始するなど、積極的な採用活動を行い、令和６年６月１日時点において、法定雇用率を達成しました。

しかし、令和８年７月には地方自治体の法定雇用率が3.0％に引上げとなることから、法定雇用率を維持するために、引き続き積極的な採用を継続する必要があります。

また、障害のある職員がその能力を十分に発揮するために、業務内容や職場環境に応じた合理的配慮の提供が重要であることから、働きやすい職場環境をさらに整えていくこと、職場環境を起因とする不本意な離職者を生じさせないため、障害に対する理解を深めることなど、障害があっても安心して働き続けられる職場づくりを推進していく必要があります。

障害者雇用率の推移（各年度６月１日現在）

年度	法定雇用率	法定雇用障害者数の算定基礎となる職員数	障害者数	実雇用率	不足数
令和２年度	2.50%	1,029.0人	15人	1.46%	10人
令和３年度	2.60%	997.5人	16人	1.60%	9人
令和４年度		988.0人	15人	1.52%	10人
令和５年度		1,011.5人	20.5人	2.03%	5.5人
令和６年度	2.80%	946.5人	26.5人	2.80%	0人

５　計画の目標

（１）採用に関する目標として、計画期間内の各年度６月１日時点において、法定雇用率を達成することを目標とし、毎年の任免状況通報により進捗管理を行います。

（２）定着に関する目標として、職場環境を起因とする不本意な離職者を極力生じさせないよう努めることとし、障害のある職員の退職時には、本人及び所属職員等へヒアリング調査を行い、可能な範囲で離職理由の把握を行うなどし、対応策を検証することとします。

６　取組内容

障害者の活躍を推進する体制整備として、障害者雇用推進者や障害者職業生活相談員を選任し相談窓口を設けるほか、ハローワークや障害者生活支援センターなどの外部関係機関とも連携し、必要なサポート体制を構築することとします。職員の能力や希望も踏まえ、職務の選定を行い、その後、定期的に面談等を実施することで、業務の適切なマッチングができているかを点検し、必要に応じて業務の見直しを実施するほか、必要な就労支援機器の購入などの環境整備にも引き続き取り組みます。

また、障害者が配属されている部署職員などを対象に、障害者への差別の禁止や合理的配慮提供等に係る研修を実施し、障害への理解醸成を図ります。

７　前計画との主な変更点

（１）障害者雇用の現状と実績を記載

これまでの障害者採用選考の実施状況や、前計画期間内における障害者雇用率の推移、取り組みなどの実績を記載しました。

（２）目標設定の変更

障害者の採用に関する目標について、前計画では、計画期間終了年度の基準日において法定雇用率を達成することを目標としましたが、第２次計画では、計画期間内の各年度の基準日における雇用率を法定雇用率以上とすることとし、法定雇用率達成状況を維持することを目指します。

（３）アンケート結果等を踏まえた取組内容の見直し

障害のある職員を対象に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、障害への理解醸成を図るための研修の実施や、相談窓口の周知徹底、職員が部署異動する際、合理的配慮が必要な事項の情報提供を円滑に行うなど、安心して勤務できる職場づくりを推進します。

８　計画書の閲覧方法

（１）渋川市ホームページ

令和７年４月１日から、市ホームページで公開しています。

（２）市政情報コーナーでの閲覧

令和７年４月１日から、渋川市役所本庁舎１階（市民課前）の市政情報コーナーに計画書を配架しています。

９　そ の 他

県内11市においても、障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく計画を策定しています。

参考

計画策定に当たって実施した会議等の状況

１　渋川市障害者活躍推進計画推進委員会

障害者である職員の活躍推進、安全安心な職場環境づくりを目的に、全庁的な取り組みとして庁内関連部署職員で構成する委員会を開催し、電子会議で意見を集約しました。

・第１回：令和７年１月15日～24日

・第２回：令和７年３月12日～18日

２　計画の基礎とするためのアンケート調査

職業生活における活躍推進に関するアンケート調査を実施しました。

・実施期間：令和６年12月19日～27日

■問い合わせ先

総務部　部長　星野　幸也（内線2100）

担当：人事課（電話0279-22-2362）

課長　照井　清豊（内線2111）

人事給与係長　高橋　幸徳（内線2115）

資料４

地域の担い手不足を解消するため 自治会加入を「渋川市移住者住宅支援事業助成金」の 交付要件とし地域の活性化を促進します

渋川市は、令和７年度から「渋川市移住者住宅支援事業助成金」の交付要件に『自治会加入』を加えました。また、新たな加算項目として『消防団への加入』や『市内企業への就職』を追加し、地域活動の担い手不足の解消と地域の活性化を促進します。

１　概　　要

渋川市は、人口減少を抑制し、定住人口を増やすことによる地域活性化を目的として、住宅を取得して市外から転入する人に助成金を交付しています。自治会加入者が微減傾向にあるなか、地域活動の担い手不足を解消し、地域を活性化するため、令和７年度から『自治会への加入』を助成金の交付要件としました。

また、新たに『消防団への加入』や『市内企業への就職』を加算項目に加え、移住者の地域への定着を促進します。

２　助成対象者

渋川市内に住宅を新築または購入し、市外から転入した移住者

３　助成要件

次の全てに該当すること

（１）渋川市に初めて住民登録をするまたは転出後１年以上経過し再転入している
（２）渋川市に住民登録をしてから２年以内および所有権保存（移転）登記をした日から１年以内である
（３）市区町村税（前年度の賦課期日に住民登録をしていた市区町村のもの）を滞納していない
（４）居住地の自治会に加入している

４　助 成 額

５万円（加算額を含め最大128万円、特別加算該当者は更に100万円）

５　加 算 額

（１）助成対象者が40歳未満＝10万円
（２）新築時市内業者利用＝30万円
（３）中古住宅取得＝10万円
（４）渋川市空き家バンクの登録物件取得＝30万円
（５）助成対象者が県外からの移住＝20万円
（６）県外からの移住者で災害救助法適用対象の自然災害により居住していた住宅が罹災証明で「半壊」以上の判定を受けている＝30万円
（７）市内企業に新規就職＝10万円
（８）消防団に新規加入＝３万円
（９）居住誘導区域内に住宅を取得＝20万円
（10）過疎地域内に住宅を取得＝10万円

6　特別加算額

加算額の（1）、（4）、（5）、（9）全てに該当＝100万円

7　申請方法

申請書に必要書類を添えて市民協働推進課へ持参してください。

申請書は市民協働推進課に設置または市ホームページに掲載しています。詳細は市ホームページを確認してください。

8　予 算 額　　3,194万円

9　そ の 他

群馬県内では５市12町村において住宅取得に係る支援事業を実施しています。そのうち１町村が自治会加入を交付要件としています。

■問い合わせ先

市民環境部　部長　堀口　幸則（内線1100）

担当：市民協働推進課（電話0279-22-2401）

課長　小野　宏仲（内線4314）

移住定住支援係長　山田のぞみ（内線2181）

資料５

渋川市内から東京都等の大学などに通う学生を応援する「渋川市定住促進県外通学学生応援事業」を実施します

渋川市は、東京都、神奈川県、千葉県にある大学等に渋川市内から列車を利用して通学する学生を対象に、通学定期の購入費用を補助する「渋川市定住促進県外通学学生応援事業」を継続して実施します。

１　概　　要

高校卒業後に進学する渋川市内在住の若者が、市内に留まることによって、渋川市に定住することを促進するため、東京都等にある大学等に市内から列車を利用して通学する学生に対し、通学定期券の購入費用を補助します。

※「東京都等」とは、東京都、神奈川県、千葉県のことです

※「大学等」とは、学校教育法が定める大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校のことです

２　補助対象者

次の（１）から（３）の要件を全て満たす人

（１）補助金申請時に渋川市内に居住していること

（２）補助金申請日の属する年度の末日において25歳以下であること

（３）通学定期券を利用して東京都等の大学等に通学していること

３　補助対象期間

定期券の有効期間が令和７年４月１日から令和８年３月31日までの間のもので、東京都等に通学を開始した日の属する月から学校教育法が定める修業年限までとします。

４　補助対象経費　　補助対象期間内の通学定期券の購入費用

５　補助対象額

１会計年度につき、次の（１）又は（２）の金額を上限とし、購入金額が上限に満たない場合は、購入金額全額を補助します。

（１）新幹線利用：月額１万円

（２）在来線利用：月額5,000円

※百円未満の端数が生じた場合は切り捨て

６　申請方法

次の申請書類等を市民協働推進課へ持参又は郵送してください。

（１）申請書（様式）

（２）申請者の住民票

（３）申請者の学生証の写し又は在学証明書

（４）利用期間等が記載された通学定期券の写し

（５）その他市長が必要と認める書類

7　予 算 額　　270万円

8　そ の 他

群馬県内では館林市、みなかみ町において同様の支援を実施しています。

参考

令和６年度の補助実績

（１）補助件数　　７件（内訳：東京都＝７件(大学生５人･大学院生１人･専門学生１人、男性３人･女性４人)）

（２）補助金額　　37万5,000円

■問い合わせ先

市民環境部　部長　堀口　幸則（内線1100）

担当：市民協働推進課（電話0279-22-2401）

課長　小野　宏仲（内線4314）

移住定住支援係長　山田のぞみ（内線2181）

資料6

ミニシンポジウム「しぶかわ未来共創スプリングセッションｉｎ金島」を開催します

渋川市は、「人口減少」などの課題を市民の皆さんと共有し、共に市の未来を考えるためのミニシンポジウムの第３弾を、４月24日(木)に金島地区で開催します。

１　概　　要

全国的にも進む「人口減少」や「少子高齢化」は、渋川市にも様々な影響を及ぼしています。

渋川市が抱える状況を市民の皆さんと共有し、共に市の未来を考えるためのミニシンポジウムを、伊香保地区・小野上地区に続き、金島地区で開催します。

２　日　　時　令和７年４月24日(木)　午後６時～７時30分

３　会　　場　金島公民館　ホール（渋川市金井1999）

４　内　　容

伊香保地区・小野上地区同様、「人口減少やこれに伴う学校・公共施設のあり方、行政サービスの維持など」をテーマとしながら、テーマに関する市の説明の他、参加者間での意見交換を行います。

５　対 象 者　市内在住・在学・在勤の人の他、どなたでも参加いただけます

６　定　　員　50人（先着順）

７　参 加 料　無料

８　申込方法

（１）氏名、年齢、住所、電話番号を、電話（0279-25-8419）
　またはメール（mirai@city.shibukawa.gunma.jp）で政策戦略課へ
（２）市ホームページの専用応募フォーム

応募フォームはこちら▶

９　そ の 他

（１）今後も、市内各地区で開催する予定です
（２）託児、車椅子、移動の介助、手話通訳等を希望される人は、気軽に相談してください

参考

令和６年度の開催実績について

	開催日時	会場	参加者数
しぶかわ未来共創 ウインターセッションin伊香保	令和７年２月６日	伊香保公民館 講義室	13人
しぶかわ未来共創 スプリングセッションin小野上	令和７年３月26日	小野上公民館 講義室	24人

■総合戦略部　部長　鴻田　吉史（内線2410）
担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）
課長　小野　篤史（内線2420）
未来戦略係長　齋藤　大輔（内線2423）

あなたの思いと声を、しぶかわの未来へ届けるために

しぶかわ未来共創 スプリングセッションin金島

2025年
4/24（木）
PM6時～7時30分

会場 金島公民館ホール　入場無料　定員50名（先着順）

プログラム

渋川市が抱える「人口減少」などの課題を、市民の皆さんと共有し、共に市の未来を考えるため、①テーマに関する市の説明、②参加者間での意見交換を行う、ミニシンポジウムを地区別で開催します。今回のテーマは、「人口減少やこれに伴う学校・公共施設のあり方、行政サービスの維持など」です。

当日は、市の財政や公共施設、水道事業や教育環境の状況をまとめた資料を配付します。

申し込み方法

■次のいずれかの方法でお申し込みください。
①電話（政策戦略課直通、TEL0279-25-8419）
②メール（mirai@city.shibukawa.gunma.jp）
※氏名、年齢、住所、電話番号をご記載ください。
③市ホームページの専用応募フォーム
※右の二次元コードからご応募ください。
■託児、車椅子、移動の介助、手話通訳等を希望される方は、お気軽にご相談ください。

主催：渋川市

資料７

春の全国交通安全運動に伴う一斉街頭指導を行います

春の全国交通安全運動に伴い、４月14日(月)に一斉街頭指導を行います。
通行車両等に対して交通安全啓発品を配布し、交通安全を意識づけて交通事故防止の徹底を図ります。

１　目　　的

交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、交通事故防止の徹底を図るため、春の全国交通安全運動に伴う一斉街頭指導を行います。

２　日　　時　　令和７年４月14日(月)　午後３時30分～４時（予定）
※雨天中止

３　場　　所　　渋川市民会館前　市道駅前通り線

４　内　　容　　運転者へチラシと啓発品の配布、沿道でのぼり旗の掲出

５　参 加 者　　渋川市交通対策協議会委員
顧　問　　県議会議員、渋川警察署長、渋川交通安全協会長
会　長　　渋川市長
副会長　　市議会議長、副市長、教育長　ほか

■問い合わせ先
情報防災部　部長　萩原　義人（内線2105）
担当：危機管理室（電話0279-22-2130）
室長　小杉　早苗（内線2180）
安全安心係長　梅澤　久美子（内線1144）